

ご利用までの流れ

STEP 01 お問い合わせ

ご利用を希望される機器・設備や実験内容、利用方法についてお問い合わせください。使用できる機器・設備の詳細は別紙、またはWebサイトよりご確認ください。



Webサイト

受付窓口(研究推進課)までご連絡をお願いします。
072-683-1221(内線2005)
担当におつなぎし、打ち合わせを開始いたします。

また、右記の情報をお伝えいただけますとスムーズです。

- お名前
- ご所属
- 利用を希望する機器・設備
- 実験の内容
- 実験期間
- 持ち込みを希望するもの
- 感染や危険物の危惧
- 費用・ご予算



STEP 02 打ち合わせ

機器・設備の使用方法のご説明や、研究計画等について打ち合わせをします。



STEP 03 ご見学

実際の利用を想定し、担当者とともに設備の見学と機器の体験を行います。



STEP 04 申請・審査・契約

所定の形式で申請を行っていただき、「共用システム審査会」で審査・承認後に契約を交わします。



STEP 05 利用開始

ご利用される機器・設備をご予約いただき、ご利用ください。また、利用時の相談も承ります。



ご利用可能時間
平日 10:00~16:00

Q 1回で終わる実験もしくは、長期(1年以上)の実験でも利用はできますでしょうか?

A 利用回数などの制限はございません。
※メンテナンスなどでご利用が出来ない場合がございます。

Q 機器の使い方が全く分からなくても大丈夫でしょうか?

A 分からない場合はご説明をしますのでご安心ください。
※有料(別紙参照)

研究機器・設備 共用システム

Research equipment and facilities
Shared system

ACCESS

本部キャンパス (医学部)

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

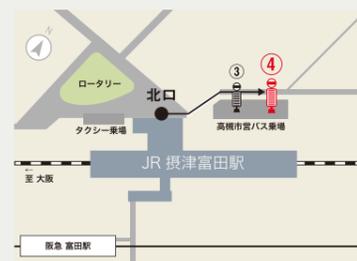
- JR東海道本線(JR京都線)「高槻」駅下車 南口より徒歩8分
- 阪急電鉄京都線「高槻市」駅下車 出口①よりすぐ
- JR「高槻」駅から 無料シャトルバス運行



阿武山キャンパス (薬学部)

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号

- JR東海道本線(JR京都線)「摂津富田」駅又は阪急京都線「富田」駅下車後 高槻市営バス「JR富田駅」より④番乗場で
- ▶「大阪医科薬科大学(薬学部)」行 もしくは ▶「公園阿武山」行 「大阪医科薬科大学(薬学部)」下車すぐ



各キャンパスへの
詳しい行き方は
Webサイトを
ご参照ください。



大阪医科薬科大学

受付窓口 研究推進課

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号(本部キャンパス)

お問い合わせはこちらから

Tel:072-683-1221
(内線 2005)

e-mail:sangakukan@ompu.ac.jp

詳しくは
Webサイトを
ご確認ください。





大阪医科薬科大学には 最先端の研究機器・設備がある！



科学技術イノベーションにつながる産学官連携等を促進する目的で、本学に設置する研究機器・設備を学外の幅広い研究者等が活用するシステム（以下、「共用システム」）を構築し、この度運用を開始いたしました。本学の共用システムは、学外研究者のニーズに応え得る大型で利便性、効果性の高い研究機器を選定しております。運用開始にあたり、初回に限り利用料を無料にいたします。この機会をぜひご活用ください。利用をご希望の場合は、まずは受付窓口（研究推進課）までご連絡をお願いいたします。

Point 01 限りある資源の
効果的活用

Point 02 外部連携の発展
(共同研究、産学・地域連携)

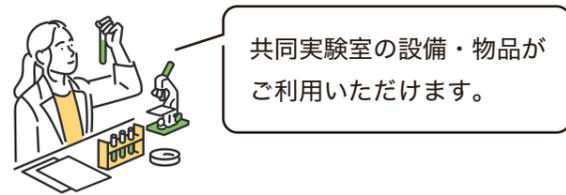
Point 03 効果的な管理・運用
高度で専門的な技術

こんなお悩み、ありませんか？

- 自分の施設に必要な研究機器・設備がなくて困っている
- 実験に必要な研究機器・設備を外部で使える場所を探している
- 他の研究機関と共同で研究機器・設備を活用できる場所を探している
- その他、研究機器・設備に関する悩みや相談がある



お持ち込みいただくものは **測定サンプルだけ！**



共同実験室の設備・物品が
ご利用いただけます。



Share

研究相談
機器・設備ニーズの
ヒアリングを行います



Planning

研究計画
機器・設備利用・
スケジュール調整



Act

研究の実施
機器・設備を用いて
研究をすすめます



Connect

連携する
成果を連携し、次の段階へ



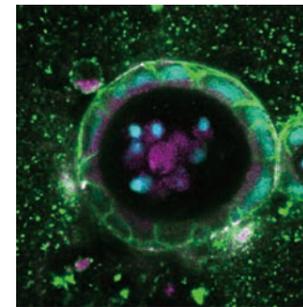
Expand

発展する
新たな知見、新たな未来へ

Flow

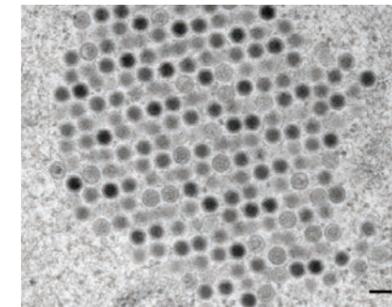
データ例のご紹介

医学部（本部キャンパス）



■ 共焦点レーザー顕微鏡

型式：STELLARIS 8 Leica
材料：MDCK 細胞、3 次元培養
条件：対物レンズ水浸 25 倍 +zoom4 倍
染色：(シアン)核 (緑)インテグリン
(マゼンタ)細胞に発現させた蛍光タンパク質



■ 透過型電子顕微鏡

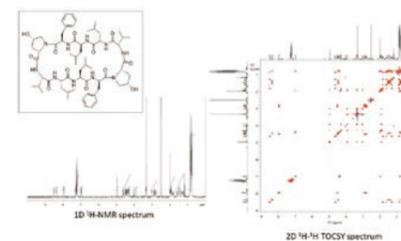
型式：HT7800 日立ハイテック
材料：アデノウイルス (adenovirus : AdV)
Vero細胞(核内)
条件：加速電圧80K 撮影倍率 ×15,000
染色：酢酸ウラン・鉛の2重染色



■ 共同実験室

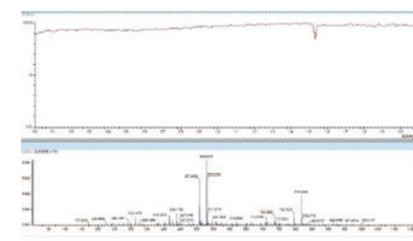
通常実験室に備えるような器具・消耗品を
使用可能です。
例 各種ピペット(シングル・マルチ・電動)
チューブ(1.5mL、15mL、50mL)
遠心機、卓上恒温槽、顕微鏡など

薬学部（阿武山キャンパス）



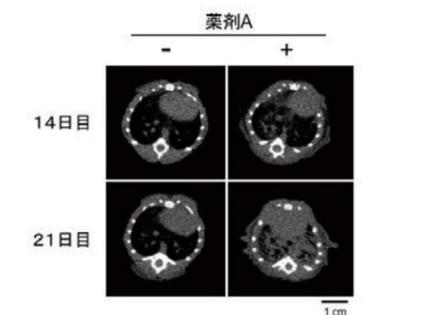
■ 核磁気共鳴装置(NMR)

核磁気共鳴装置(NMR)を用いた合成ペプチド構
造の確認



■ 質量分析装置(MS)

質量分析装置(MS)による精密質量解析



■ 小動物インビボイメージングシステム

小動物インビボイメージング装置を用いた
マウス肺の CT 画像